

阿部有希さん（昭和54年生まれ、天童市出身。）

自らが起業したいとの理由から、仙台市で女性の起業支援の仕事始める。しかし、結婚・出産後に、農家になる決断をした旦那様の実家がある最上町へ親子で移住することに。

2016年1月から、地域おこし協力隊兼婚活アドバイザーとして結婚したい男女の個別サポートを行っており、旧満沢小学校を改装した結婚相談所「Le lapin」を9月にオープンさせる。「できない」を「できる」にする、超ポジティブ思考の敏腕アドバイザー。



Yuki Abe

私は職場や家族にも恵まれていますし、何か問題があったとしても、その事でそんなに悩まないかもしれませんね。私はいつでも「できる方へできる方へ」と物事を考えていきますので。何事も、できない理由をまず先に考えずに、「世の中は自分のために回っている」くらいに考えると何でもうまく回っていくような気がします（笑）。

があったんですね。みなさん酔っ払っていただけかもしれませんが、「阿部さんだからついていくんだよ」とか「これからよろしく」と言ってくれて、とても感動しました。町の関係者からは「早く婚活事業の成果を…」という声も聞こえてきますが、キメ細かいサポートをしているからこそ、成果が出てくるのはこれからで、そうでないと思う方が幸せな家庭を築いていけるとは思えないので。そのためにもここで出来る限り頑張っていこうと思います。



**Q 最上地域の女性へメッセージ**  
やりたいことがあれば我慢しなくていいんじゃないでしょうか？できないことを周りのせいにする、言い訳上手な人にはならないでほしいです。無理な状況でも、そこを可能になるように周囲をきちんと説得する、これも自分の頑張りの一つだと思います。他人と比べて「あなたはいいわよね」とか言う人は、できないで終わる人だし、思い描いた目標を実現する人は、「○○だからできない」と考えるのではなく、「○○で○○だけできるふうになるか」を考えていると思います。そういう前向きな人は少々のことではつままずきません。やはり人はそれぞれあると思いますが、誰しもが必ずラッキーパターンを持っているように、前向きに進むことで必ず好転していくものだと私は思っていますのよ。

でも、ここにきてその意味を実感しています（笑）。  
それから、温泉の公衆浴場に頻繁に行ける贅沢ですね。子どもと一緒に行くと話かけてくれる方々も多くて、昔ながらの裸の付き合いができるころは、本当に素敵どころだと感じます。マイナスイオンを捨てるのも、この地域の温かさが関係しているんじゃないかな。  
反対に改善してもらいたいことは、「前例がないことをとにかく認めたがない」ってことです。婚活でもそうなんですけど、「長男だから家を継がなきゃいけない」とか「同居しなくちゃ」だとか、自分自身の問題でないことにまで無駄にこだわってしまったって融通がきかない場合が多いです。周囲と比べて判断するんじゃなく、また、これまでと比べて決めつけるのでもなく、問題を解決する最善策は何かを一番に考えてほしいですね。